

公安委員会定例会議(第13回)の開催状況

第1 日 時 令和4年6月1日(水)

午後2時10分 ～ 午後4時20分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長

刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長

総務課長

第3 議事の概要

1 渡部委員説示

先週金曜日に県警音楽隊による「春のプロムナードコンサート」を拝聴しました。県警音楽隊は県民との「音の架け橋」であり、音楽を通じた広報啓発活動によって県民の意識が高まるなど、その宣伝効果は素晴らしいものがあります。今回のコンサートも大勢の観客が集まり、県民の県警音楽隊に対する関心の高さを感じたところであり、今後も音楽隊が演奏活動に集中できるよう、県警全体で支援していただきたいと思えます。

もう一つは、以前にも紹介した齋藤孝先生の著書「不機嫌は罪である」についてお話しします。職員皆が上機嫌で仕事をすることが大切であり、上機嫌が職場を活性化します。他人とのコミュニケーションにおいて4つの点に心掛けると上機嫌が伝わると言われていています。その4点とは、「目を見る」「微笑む」「頷く」「相槌を打つ」です。相手に対して明確なリアクションをすること、これにより相手は安心感を持ち、心を開き、コミュニケーションが円滑になるようです。一般人から見ると、警察官と話をすることは怖いというイメージがあります。もちろん、警察組織には怖い一面も必要ですが、TPOに応じた上機嫌な対応を取ることで、県民との距離も縮まり、更には仕事の効果を上げることにもつながると思えます。警察官一人一人が改めて円滑なコミュニケーションを意識し、様々な業務を推進していただきたいと思えます。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第12回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 警察署協議会委員の委嘱及び委嘱状の交付

総務室から、警察署協議会委員の委嘱及び委嘱状の交付について伺いがあり了承した。

(3) 個人情報開示請求にかかる部分開示(2件)

総務室から、個人情報開示請求にかかる部分開示について伺いがあり了承した。

(4) 公安委員会宛て苦情の調査結果（2件）

総務室から、公安委員会宛て苦情の調査結果について伺いがあり了承した。

(5) 愛媛県留置施設視察委員会委員任命式の開催

警務部から、愛媛県留置施設視察委員会委員任命式の開催について伺いがあり了承した。

(6) 公安委員会表彰（感謝状）授与の推薦

警務部から、公安委員会表彰（感謝状）授与の推薦について伺いがあり了承した。

(7) 留置施設に対する「実地監査計画（案）」の策定

警務部から、留置施設に対する「実地監査計画（案）」の策定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和4年版まもると安全の白書の発行

警務部長から、令和4年版まもると安全の白書の発行について報告があった。

委員から、「様々な警察活動の写真が多数掲載されているなど、内容の濃い冊子に仕上がっている。警察職員の採用募集活動等においても積極的に活用していただきたい」との発言があった。

委員から、「警察の様々な活動が網羅された白書になった。県民に警察活動を今以上に知ってもらうために、既存の配布先だけでなく、現場の意見等を踏まえ、より効果的な配布先を検討していただきたい」との発言があった。

委員から、「深刻な社会問題となっている特殊詐欺に関しては、実際にあった具体的事例を交えて啓発することも必要である。白書を有効に活用することで、より効果的な広報啓発活動に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(2) 地域警察官の活動状況（令和4年1～4月）

生活安全部長から、令和4年1月から4月までの地域警察官の活動状況について報告があった。

委員から、「職務質問は、今後の警察活動への協力にもつながる機会であるので、引き続き、相手の気持ちにも配慮し、適正かつ丁寧に実施していただきたい。また、第一線で活躍する地域警察官を積極的に称揚するなど、組織全体で地域警察の活動を盛り上げていただきたい」との発言があった。

委員から、「地域警察官の活動について丁寧に説明してもらい、地域の隅々まで密着した活動を行っていることが把握できた。ただし、職務

質問に当たっては、何が起こるか分からないことから、瞬時に的確な判断ができるように緊張感を持つとともに、無用な紛議を避けるために言葉遣いには十分気を付けていただきたい」との発言があった。

(3) 傷害致死事件被疑者の検挙（松山東署）

刑事部長から、傷害致死事件被疑者の検挙について報告があった。

委員から、「老々介護だけでなくヤングケアラーも深刻な社会問題になっている。引き続き、関係機関との連携を強化し、徹底した事件検挙に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「困難な事件であるが、綿密な捜査により検挙していただいた。事件の全容解明に努めていただきたい」との発言があった。

(4) 第13回愛媛県警察嘱託警察犬競技会の開催

刑事部長から、第13回愛媛県警察嘱託警察犬競技会の開催について報告があった。

委員から、「増加する認知症高齢者等の行方不明事案など、様々な分野で警察犬が活躍できるように訓練にしっかり取り組んでいただきたい」との発言があった。

4 その他

本部長から、「委員説示のとおり、『上機嫌が職場を活性化する』という意識は組織を運営する側にとっても大切な考え方である。自分の感情や表情をコントロールしていくことは幹部としての資質の重要な要素だと実感した」、「今週月曜日に全国警察本部長会議に出席した。出席して改めて感じたことは、東京では国の議論が身近で行われている状況もあり、サイバーセキュリティ等の新たな犯罪事象を自らの課題として感じる事ができる傾向にあるが、地方では遠い世界の問題であると感じてしまう場合があるのではないかということである。県内においてこうした新たな課題について啓発ができるのは警察しかなく、警察が先頭に立って広報啓発活動を推進していく必要性を強く感じた」との発言があった。

以上